

## 最終カード待たず優勝 東都大学野球2部リーグ戦

### 1部復帰狙い、入れ替え戦に照準

東都大学野球春季リーグ戦(2部)は第6週を終え、専大は8勝2敗の勝ち点4で、最終カードを待たずして優勝を決めた。

1試合平均6得点を超える強力打線に加え、投手陣も安定。他校の追従を許さず独走した。

1部・2部入れ替え戦は6月7,8日(対戦校未定)、神宮球場で行われる。【勝敗表は[体育会ホームページ](#)へ】



▲エース・深澤の力投



▲リーグ戦3ホーマーの森

#### 【拓大1回戦】

初回到照沼大(経営3・茨城東高)のソロ本塁打で先制したが、その後打線は沈黙し、痛い黒星スタートとなる。

#### 【拓大2回戦】

西村光由(経営1・山梨学院大学附属高)が立ち上がりに2点先制されるが、1回裏に打順一巡の攻撃で5点を返す。その後4回まで毎回得点し、13-3とゲームを支配する。投げては西村、阿部正太郎(経済1・新潟明訓高)の1年次生リレーで1勝1敗のタイにする。

#### 【拓大3回戦】

4回到専大打線が爆発！一挙7得点を奪い試合を決める。エース・深澤季生(経営2・藤嶺学園藤沢高)、リリーフ・近藤大輔(商4・松山商高)がともに好投し、8-3で勝利。勝ち点を挙げた。

#### 【順大1回戦】

先発深澤が9回をひとりで投げ切り今季初完封。森拓男(商3・東福岡高)に3号ソロ本塁打が飛び出し2-0。

#### 【順大2回戦】

専修大学伊勢原球場で行われた2回戦はまさに圧勝。初回到6連続安打で5点を先制、4回到3点、5回到も2点を加える。西村、近藤が完封リレーを演じ、10-0で2試合連続完封勝ち。勝ち点を挙げた。

#### 【立正大1回戦】

2回表に打線がつながり、一気に4得点。9回表には照沼の二塁打で駄目押しの1点を挙げ、6-2で先勝。

#### 【立正大2回戦】

2回裏に柿沼伸彦(経済3・宇都宮学園高)の2ラン本塁打で先制。6回途中から登板した近藤は8回、満塁のピンチもきっちり無失点で抑える。同点で迎えた8回裏、杉田暁彦(商3・高陽東高)が勝ち越しソロ本塁打を放つ。2位の立正大から勝ち点を挙げた。

(岩谷 純一・文2) (高橋奈津子・文3)

[5月15日/ニュース専修16面]

## 関東学生卓球新人選手権 女子単・複で優勝 名門復活！トン選手が活躍



菅原靖子

トン 舟

4月22、23日に卓球部の今年度最初の大会となる関東学生卓球新人選手権が、駒沢体育館で行なわれた。

女子は、ダブルスの菅原靖子(文4・盛岡女子高)、トン 舟(商1・中越高)組が熱戦を制して、見事に優勝。また、シングルスでもトンが1年次ながら、強さを見せつけ堂々の優勝を果たした。実に24年ぶりの単・複優勝となった。

男子も、原雅彦(商1・青森山田高)がシングルスでベスト4入りを果たすなど、卓球部は男女ともに好成績で、今年度のスタートを切った。(稲田礼子・法2)

[5月15日/ニュース専修16面]

## 吉田 圧倒的な力で完勝 JOCJrレスリングフリー96kg級



▲吉田 年成

JOC2003ジュニアレスリング選手権が4月25日から27日まで横浜文化体育館で行われ、フリースタイル96kg級で吉田年成(商2・八戸工大第一高)が見事優勝を遂げた。吉田は2回戦までを危なげなく進むと、準決勝では“同門”の三上恭佑(経済2・巻農高)と対峙。ここまで接戦を制して勝ち上がってきた三上に対し、終始攻めの姿勢を崩さず勝利を収める。勢いに乗り決勝戦でも相手にペースをつかませず、圧倒的な力を見せて完勝した。

2年次生の吉田に今後の飛躍を期待したい。

また、同60kg級で坂口信二(経営2・添上高)、同84kg級で尾島好洋(法2・滑川高)、同96kg級で三上

がそれぞれ3位に入賞。専大のレベルの高さを証明する大会となった。(高橋伸明・文2)

[5月15日/ニュース専修16面]

## 森 鮮やかな手綱さばき 東都学生馬術で優勝に貢献



東都学生馬術大会が4月4日から6日までJRA馬事公苑で行われ、専大は複合馬術競技(馬場・障害)で優勝、東都学生トーナメント競技会でも優勝に輝いた。

新チームで臨んだ試合ではあったが、それぞれが安定した成績を収めた。中でも、エース森裕悟(商2・関東第一高)

＝写真＝は鮮やかな騎乗で人馬一体に。チームに大いに貢献した。複合馬術競技では個人2位の好成績を挙げた。

この成績に対し、富沢健悟監督は「結果は良かったが、内容には満足していない。皆“良いモノ”を持っているのだから、試合でも実力を発揮出来るようもっと練習してほしい」と選手たちの更なる飛躍を期待する。大きな可能性を秘めた新生馬術部は、今走り始めた。(山室綱寛・文3)

[5月15日/ニュース専修16面]

## 女子回転 服部が優勝！スキー・野沢温泉カップ



▲服部 七穂

スキーのFIS野沢温泉カップが4月6日から10日まで、長野県下高井郡野沢温泉村で行われ、10日の女子回転で服部七穂（経営2・双葉高）が見事に優勝を果たした。

服部は1本目を59秒90と、本種目で唯一1分を切る素晴らしいタイムで、2位以下を大きく引き離す。2本目で多少差を詰められはしたものの、そのまま逃げ切った。1月のインカレでの2位に続き、今度は表彰台の頂点に立った。

「シーズン最後の大会で優勝を飾れてうれしい。来シーズンも好成績を残せるように頑張ります」と語った。

また、服部は9日の女子回転でも3位に輝き、その実力は高い。今後も結果を残してくれることを期待したい。（高橋伸明・文2）

〔5月15日/ニュース専修16面〕